

# 神石高原 かがやきネット

告知端末機の活用紹介

## 留守録機能

- 留守録機能があるから、出かけていても安心
- 電源が切れていても、後から放送内容を確認できて安心  
(告知端末機自体にはなくセンターに録音されています。)



〇〇班班長です。  
明日、常会を開催します  
ので…



遅くなったな…

役場からのお知らせです。  
明日の…

再生ボタン



便利!



## グループ放送

- 特定のグループのみに向けた放送ができます。  
(自治振興会、班、学区などのグループ)

## ご協力ありがとうございます

強度不足によって使用できない電柱の改修や、新しい電柱の設置作業を実施しています。電柱設置につきましては、施工業者の者が説明にお伺いしておりますが、快くお受けいただきありがとうございます。後日改めて、役場からお願いにお伺いいたしますのでよろしくお願いいたします。



光ファイバーケーブルの敷設工事のため、高所作業車等によりご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願ひします。

皆様の所有地付近等への電柱設置工事や共架工事のための下草刈り作業等についてもご了承いただきますよう、重ねてお願いいたします。



お問い合わせ先 情報プロジェクトチーム ☎0847-89-3352(役場本庁)  
株式会社ケーブル・ジョイ ☎0847-45-0557(府中)  
同上 神石高原事務所 ☎0847-89-0012(油木)

ホームページ <http://www.ccjnet.ne.jp/~kagayaki/>

## 過疎地域支援の横のつながり

神石高原町発

# 地域サポート人ネットワーク 全国協議会発足

10月13日(水)・14日(木)の2日間、三和の森リゾート&カンファレンスセンターで、全国初となる「地域サポート人ネットワークシンポジウム西日本大会」が開催されました。このシンポジウムは、本町が発起人の中心となり、地域サポート人(集落支援員、地域おこし協力隊などの、集落の維持再生に取り組んでいる方々)の全国的なつながりを創り、情報の共有、研修機会の創出、行政機関等への政策提言などを行う「地域サポート人ネットワーク全国協議会」の設立大会と併せ開催されました。



基調講演

本町では、昨年度から集落支援員制度に取り組んでおり、源流の里に指定されている49集落に10名の集落支援員が入り、維持再生に向けた活動を行っています。この活動の中から、地域サポート人として活動している多くの仲間と情報の共有などができるネットワークを構築し、活動を支援することを全国に向け提案したものです。

シンポジウムの1日目は、約200名の参加を得て開会行事、国際日本文化研究センターの安田喜憲教授の基調講演、総務省地域力創造審議官の門山泰明氏の



情勢報告

情勢報告を受け、その後、本町の小野自治振興会が取り組む「小野農業尋常小学校」の事例発表などが行われました。



事例報告

2日目は、6つの専門的分野に分かれ、分科会を開催し、多くの事例が発表され意見交換が行われました。

協議会設立大会では設立の趣旨説明と併せ組織、会則等の説明の後、設立宣言を参加者全員で確認し念願の設立となりました。役員選出も併せて行われ、牧野雄光町長が初代協議会会長に就任しました。



協議会設立宣言

10月30日(土)には、地域サポート人ネットワークシンポジウム東日本大会が新潟県長岡市で約300名の参加により開催され、シンポジウムの討論会で油木地区の集落支援員 大杉英雄さんが「山菜倶楽部」の取り組みについて報告されました。

### 解説

#### 集落支援員制度について

自治体が委嘱した者が、地域へ直接入り込み市町村と連携し集落対策に取り組む場合、その経費について一人当たり350万円まで総務省が特別交付税で措置する制度。平成20年度は自治会役員等の兼務も含め全国で約4,000名が活動しています。